

■■■ 福祉社会学会 ニュースレター 第77号 ■■■

Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.77

<http://jws-assoc.jp/>

E-mail: maf-ws@mynavi.jp

***** INDEX *****

- 福祉社会学会・第23回大会 テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について
(2月28日締切)
- 福祉社会学会・第23回大会 自由報告の募集について (4月30日申込締切予定)
- 現在非会員で大会報告をお考えの方に
- 福祉社会学会・第23回大会の抄録集のホームページ掲載について
- 大学院生に対する学会大会発表支援について
- 第7回福祉社会学会賞(学術賞および奨励賞)候補の推薦のお願い
- 理事選挙について
- 理事会報告
- 新規会員の紹介
- 事務局からのお知らせとお願い

■福祉社会学会・第23回大会テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について

福祉社会学会第23回大会は2025年6月28日(土)・29日(日)に、関西学院大学(西宮上ヶ原キャンパス)にて開催予定です。大会のテーマセッションについてお知らせします。

テーマセッションはコーディネーターを中心に報告部会を企画していただくもので、コーディネーターには、報告者・報告順の決定、および当日の司会進行を行なっていただきます。テーマセッションは研究委員会に企画書を提出していただき、その採択・承認をもって成立します。採択の結果については締切後1週間以内にお知らせいたします。

テーマセッションは以下の3種類です。

- (1) 会員から報告者を公募する公募型テーマセッション
- (2) 報告者を公募しない、会員による自主企画セッション
- (3) 非会員の報告者を含めた拡大セッション

※上記以外に、(4)研究委員会企画テーマセッションが組まれる可能性があります。

(1)の報告者公募型テーマセッションは、企画が採択された場合、3月頃にニュースレターで会員から報告者を公募します。コーディネーターは応募者の中から報告者を選定し、部会編成を行います。部会が成立しなかった場合や報告が採択されなかった場合は、大会の自由報告部会で報告することができます。

(2)は自由報告の一部会の扱いになります。自由報告申込時に企画書(公募型、拡大セッションの企画書に準じたもの)と一緒に提出ください。

(3)は非会員を報告者に含めたセッションです。コーディネーターは会員である必要があり、その招聘に伴う費用はコーディネーターが責任をもつものとします。拡大セッションは報告者の公募を含めることもでき、その場合には公募型と同様な募集を行います。

公募型テーマセッション、拡大セッションの企画書について

- ・締切：2025年2月28日（金）
- ・申し込み先アドレス：jwsaresearch2023-24★[googlegroups.com](https://www.google.com/jwsaresearch2023-24)（←★を@に変えてください）
- ・企画書の内容：下記の事項および「テーマセッション・コーディネーター申込み」であることを明記した企画書をお送りください。
- ・テーマセッションの種類／所属／連絡先（住所・電話番号・電子メールアドレス）
- ・テーマ（そのまま部会名となります）
- ・拡大セッションの場合、非会員の報告者の氏名・経歴・研究歴などの情報
- ・部会趣旨（800字程度。承認された場合は、ニューズレターにそのまま掲載されます。）

テーマセッションに申し込みをされた方に対しては、受理通知を電子メールで返信します。申し込み後2日を過ぎても返信がない場合は、研究委員会の大日義晴までご連絡ください（[dainichi245★gmail.com](mailto:dainichi245@gmail.com) ← ★を@に変えてください。）

■福祉社会学会・第23回大会自由報告の募集について

本年6月28日（土）・29日（日）に関西学院大学（西宮上ヶ原キャンパス）にて開催予定の第23回大会の自由報告募集のお知らせです。自由報告の申込と予稿集原稿の提出締切はいずれも4月30日（水）の予定です。申込と予稿集原稿の提出の締切が同一日程に設定されていますので、ご注意ください。メールに添付ファイルでの申し込みとなります。詳しくは次号ニューズレターでお伝えします。

なお、1報告にあたり登壇者は1名とします（連名の場合も）。報告日程の指定は原則として承りませんので、ご了承ください。

自由報告申し込みを検討される場合は、学会ニューズレターおよび本学会のWEBページに掲載される大会WEBページにご注意いただき、締切などのお見落としのないようお願いいたします。

また、第22回大会から予稿集はホームページ上で公開となっております（冊子は配布いたしません）。あらかじめご了承ください。

学会WEBページのURLは次の通りです。<http://jws-assoc.jp/>

■現在非会員で大会報告をお考えの方に

今回の本学会への入会承認は6月大会時に開催予定の理事会となりますが、現在非会員で大会報告申込をお考えの方も、以下の手続きによって御報告（自由報告、テーマセッション報告）いただくことが可能です（共同報告で、現在非会員の方が含まれる場合も同様です）。

(1) 報告は会員であることが条件となりますので、大会報告申込締切時点の4月30日（水）必着で福祉社会学会事務局（〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3-1 東京大学大学院人文社会系研究科社会学研究室 米澤旦）あてに入会申込書を御郵送下さい。その際、「大会報告申込希望」であることを明記して下さい。

(2) 同時に、大会報告申込も、申込要領に従って4月30日（水）までに研究委員会あてに申し込んで下さい。その際、「事務局に入会申込書送付済」と明記して下さい。

(3) 庶務理事と理事会幹事会で入会申込書を確認したうえで、仮入会の形とさせていただきます。この時点で追加の確認が必要になった場合は、庶務理事より連絡させていただきます。

(4) 同じく4月30日（水）提出締切の予稿集原稿をご用意いただき、研究委員会あてに電子メールでお送り下さい。

9月締切予定の学会誌『福祉社会学研究』への投稿には6月大会時の理事会での入会承認が必要となりますので、現在非会員で投稿を御希望の方はお間違いのないようお願いいたします。

■福祉社会学会・第23回大会シンポジウムのお知らせ

第23回大会のシンポジウムは、以下に決定いたしました。奮ってご参加ください。

○テーマ

「地域を生きる／地域と生きる——排除を前にして何ができるか——」

○趣旨

「地域共生社会」が謳われるようになって久しいが、複雑化・複合化する問題群を前に、多くの課題が残されている。そもそも、地域の中で排除されがちな人たちにとって、あるいはその人たちの支援者たちにとって、「地域」とは何なのか。排除を前にして目指されているのは、「包摂」なのか、それとは少し異なる道なのか。「地域の中で生きる」ことは、地域の主体的コミュニティとかかわりながら生きることではなくてはならないのか、それ以外にも道はあるのか。

本シンポジウムでは、複合的な障害を抱える人たちや自傷・他害のある人たち、あるいは地域社会から忌避されがちな人々などの支援現場で思索を続ける研究者たちにご登壇いただき、「地域を生きる／地域と生きる」という内実の多様性・豊かさについて、フロアとともに考えていきたい。

○登壇者（敬称略）

司会：御旅屋達（立命館大学）・安藤藍（千葉大学）

報告者（タイトルは仮題）：

- ・相良翔（埼玉県立大学）「併存性障害を有する人の『老い衰える』を支えることをめぐる社会関係——ある障害者支援事業所でのフィールドワークを通じた考察」

- ・樋口拓朗（東京大学大学院）「『ケアの倫理』は何を包摂しないのか？—他害・触法の障害支援から経験的・批判的に再考する」

- ・稲月正（北九州市立大学）「つながりの中で生きる—『抱樸館北九州』での支援を事例として」

- ・浮ヶ谷幸代（自治医科大学客員研究員）「認知症者の生きる場所を考える：「包摂」とはなにか？」

討論者：三井さよ（法政大学）

■福祉社会学会・第23回大会の抄録集のホームページ掲載について

第23回大会では、予稿集をHPにて掲載いたします。予稿集が出来上がりましたら、学会員にはメールでパスワードをお知らせします。テーマセッションと自由報告にご応募なされる場合は、予稿集がHPにアップされることをご了解いただきますようお願いいたします。冊子は、配布いたしません。

■大学院生に対する学会大会発表支援について

学会大会で報告、参加する大学院生の支援を目的として、大会参加費を無料とします。大学院生の皆様におかれましては、学会大会にふるってご報告ください。

■第8回福祉社会学会賞(学術賞および奨励賞)候補の推薦のお願い

学会賞選考委員会では、第8回福祉社会学会賞（学術賞および奨励賞）候補の推薦を受け付けております。以下の要領に従ってご推薦ください。自薦、他薦を問いませんが、各会員が推薦できるのは各賞につき一点以内です。会員の皆様の積極的なご協力をお願いします。なお、選考の結果は2025年度の福祉社会学会総会にて発表予定です。

＜受賞資格者および受賞対象＞

学術賞：受賞資格者は「すべて」の会員。受賞の対象は「単著の著書」。

奨励賞：受賞資格者は原則として「修士課程入学後13年以内」もしくは「博士課程入学後11年以内」の会員（受賞対象の刊行日を満期とする）。受賞対象は「単著の著書」あるいは「本学会誌または他の学会誌等に掲載された査読付の論文」。

＜受賞対象の刊行日＞

2023年1月1日より2024年12月31日の2年間に刊行された会員の著書および学術論文。

＜推薦受付期間＞

2025年1月9日から2025年2月10日まで。

＜推薦方法＞

学会賞推薦ページ (<https://forms.gle/hRL9mUswKGRvn6RK7>) にログインして必要事項をご記入ください。なお、学術賞・奨励賞の有資格者であるかどうかについては、会員であるかどうかも含めて事務局で確認しますので、正確な情報がわからなくてもご推薦いただいてもかまいません。推薦方法等に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

白波瀬 達也（学会賞選考委員会委員長）

shirahasetatsuya★kwansei.ac.jp （★を@に変更してください）

■理事選挙について

2025年6月開催予定の大会総会にて第11期役員の任期が終了することに伴い、2月に理事選挙を実施します。学会事務局からお送りする選挙人名簿で資格等を御確認下さいますようお願いいたします。

会員の皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

■理事会報告

●福祉社会学会 2022年度 第2回理事会の議事録（一部省略）

2024年12月14日（土） 10時～11時45分

出席者：阿部彩、天田城介、上村泰裕、金成垣、鎮目真人、白波瀬達也、大日義晴、高野和良、寺田貴美代、藤間公太、三谷はるよ、三井さよ、米澤旦

●報告事項・審議事項

1. 第23回大会について

三井さよ研究委員長および白波瀬達也理事（大会校担当）より、第23回大会に関する提案があり、以下の内容が承認された。

- ・開催校：関西学院大学（西宮上ヶ原キャンパス）
- ・開催日程：2025年6月28日（土）・29日（日）
- ・大会シンポジウム：2025年6月28日（土）、テーマ「地域を生きる／地域と生きる——排除を前にして何ができるか——」
- ・会長講演：高野和良会長による講演を2025年6月29日（日）の総会後に開催
- ・テーマセッション・自由報告の募集：例年どおりに実施

2. 研究委員会

① 研究会の開催報告

三井さよ研究委員長より、2024年12月7日（土）に開催された第53回研究会（テーマ「累積的排除の遮断と『人格保障』的包摂——コミュニケーション・システム理論からみる包摂と排除——」）について説明があり、盛会のうちに終了した旨が報告された。

② 大会申込システムの導入検討

大会参加申し込みおよび報告受付をオンライン化するため、毎日学術フォーラムの見積もりが提示され、年額10万～15万円が必要経費として見込まれる旨の説明があった。負担軽減のため、導入に向けて検討を継続することとした。

③ 電子印鑑の導入検討

シャチハタ株式会社の見積もりをもとに、クラウド型と買取型の費用比較が報告され、引き続き、検討を進めることとした。

3. 編集委員会

上村泰裕編集委員長より、『福祉社会学研究』第22号の査読の進捗状況について報告された。また、査読のプロセスを円滑化するため、査読者および投稿者への説明文書の改良が行われたことも共有された。

4. 学会賞選考委員会

白波瀬達也学会賞選考委員長より、学会賞選考委員会の構成員および選考方法について説明され、以下の内容が承認された。

- ・委員：白波瀬達也学会賞選考委員長、安藤藍氏（千葉大学）、三谷はるよ氏（大阪大学）、金成垣氏（東京大学）
- ・選考：例年どおりの方法で進めることを確認。

学会賞推薦サイトや推薦資格確認作業は米澤旦庶務理事が担当する。

5. 社会学系コンソーシアム

天田城介理事より、2024年7月開催の第2回理事会の内容について報告があった。また、日本学術会議の公開シンポジウムについて、準備状況が説明された。

6. 社会政策関連学会協議会

藤間公太理事より、2024年7月18日開催の共同企画シンポジウムについて報告があった。

7. 第22回大会収支報告

寺田貴美代副庶務理事より、第22回大会の収支報告が行われ、承認された。また、次回大会における託児サービス提供について、大会校と研究委員会で引き続き検討することが確認された。

8. 役員選挙

米澤旦庶務理事より、第12期役員選挙のスケジュールが提案され、了承された。選挙管理委員には岩永理恵

理事と金成垣理事が選出され、一般会員からの選出も進めることが確認された。

※理事会後補記（平野寛弥会員（上智大学）、池田裕会員（法政大学）が一般会員からの選挙管理委員としてその後選出された。

9. 学会 HP のリニューアルについて

米澤旦庶務理事より、HP リニューアルの進捗状況について報告があり、毎日学術フォーラムによるラフ案が了承された。

10. 事務局からの報告事項と審議事項

- ① 入会希望：米澤旦庶務理事より、1 名の新規入会希望者について説明され、入会が承認された。
- ② 会費減免について：米澤旦庶務理事より、自然災害に限らず多様な事情を考慮する方針が確認された。また、今後の年会費値上げ時には割引会員制度を含めた検討を進めることが提案され、了承された。
- ③ 会計マニュアル改定：米澤旦庶務理事および寺田貴美代副庶務理事より、委員会予算を執行しなかった場合の手続きを簡素化するための改定案が提案され、承認された。

11. その他

① 第 24 回大会の候補校について

米澤旦庶務理事より、関東圏での開催を予定し、高野和良会長と米澤旦庶務理事を中心に、対象校の会員へ個別依頼を進める方針が提案され、了承された。

② 次回理事会について

2025 年 6 月 28 日（土）午前、関西学院大学にて開催予定

■新規会員の紹介

理事会において以下の方の入会確認がなされました。（敬称略）

Web 版では略

■事務局からのお知らせとお願い

ご所属や住所、メールアドレスを変更された場合は、毎日学術フォーラム福祉社会学会係(maf-wsmynavi.jp) (←★を@に変えてください) までお知らせ下さい。

また、研究会情報は研究委員会:otaya★fc.ritsume.ac.jp(←★を@に変えてください) までお寄せください。

【発行・編集】 福祉社会学会事務局